

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

海外クルーズ船寄港を活かした観光・物産プロジェクト

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

八代市、熊本県八代郡氷川町及び熊本県葦北郡芦北町

### 3 地域再生計画の区域

八代市、熊本県八代郡氷川町及び熊本県葦北郡芦北町の全域

### 4 地域再生計画の目標

八代市は、平成17年8月に1市2町3村による合併を行い10年が経過した。熊本県下第二の人口を有する県南地域の中心都市であり、東は九州山地で宮崎県に接し、西は八代海までの市域を有し、その中心を日本三大急流の一つである球磨川が分流して不知火海に注ぐ三角州地帯の北岸に市街地がある。その地理的条件を活かした豊かな農林水産と活力に満ちた工業を併せ持つ田園工業都市として発展してきた。

しかしながら、本市を取り巻く社会・経済情勢は、少子・高齢化やそれに伴う人口の減少、景気の不透明感、また若年層の都市部流出による過疎化の進展など厳しい状況にある。

観光物産の振興は、成長戦略の柱として、経済・地域の活性化をリードする重要な役割を担う分野であるものの、八代市は観光地としてのブランド力が弱く、地域資源の活用や体験型・交流型観光等の開発が遅れている。

そのような中、海外クルーズ船の寄港が増加傾向にあり、本市にある八代港に寄港するものの、現状では本市や県南地域の観光地としてのブランド力が弱いため、乗船客のツアーバスが当地域の観光地には来ないため、寄港効果の取り込みができていないことが課題となっている。

また、日本版DMOに登録された「DMOやつしろ」は本年4月に設立されたばかりであり、観光地経営を推進する上で必要な経営ノウハウを持つ人材を継続的に確保することや、自立化に向けマーケティング等を兼ねて行う人材の育成・確保も課題となっている。

そのため、地方創生推進交付金を活用し、「八代市総合戦略」の基本目標である「人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ”」を目指し、近年急増する海外クルーズ船で訪れる外国人をはじめとする国内外からの観光客をターゲットとして、熊本城とともに一国二城のお城として肥後細川藩

を支えた八代城の城跡周辺と藩湯であった日奈久温泉を中心とした八代固有の歴史・文化を活かして、まちの個性や魅力を発揮するために日本版DMOに登録された「DMOやつしろ」を核とする官民協働による観光地づくりを進め、交流人口の拡大と経済効果発現を目指す。

加えて、外国人等の観光客に対して日本一の生産量を誇るトマトや晩白柚、い草、豊富な農林水産物等の地域特産品のプロモーション等を行うことで、消費拡大・流通促進を図り、観光産業及び食関連産業における雇用の創出と活性化を目指す。

さらに、八代市と熊本県八代郡氷川町、熊本県葦北郡芦北町（以下、「八代市と氷川町、芦北町」という。）は、九州と熊本県のほぼ中央に位置し、九州の大動脈である国道3号線、九州自動車道、九州新幹線につながっており、農林水産を基幹産業とする田園漁村地域である。九州山地の脊梁地帯を形成し、氷川、球磨川、佐敷川で形成された豊かな土地が広がり、永年にわたる干拓事業によって大きな平野を有したことにより、イ草やトマト、メロン、玉ねぎなど数多くの農産物が生産されている。八代海（不知火海）北部は、日本最大級の干潟を持ち、さらに南に下るとリアス式海岸となり、湾曲した海岸線が幾重にも重なり、その海面には海近くまで迫る樹林やみかん畑を映し、海と一体となり四季折々に変化する景観をつくり出す地域であるものの、全国的に観光地として浸透していないのが現状である。

そのことから、八代市と氷川町、芦北町は、柑橘系の栽培が共通し盛んであることから、柑橘系という括りで圏域一体となってプロモーションを行っていくことで他地域との差別化を図り、認知度を高めて行くものである。他地域にはない、本地域固有の「歴史」・「文化」・「自然」・「食」を連携させ、柑橘系からくる「しぼりたて、100%、純粹、さっぱり、清潔感、爽快」を結び付けることで、「住んでよし、訪れてよし」の滞在交流型の観光圏を目指していくものである。

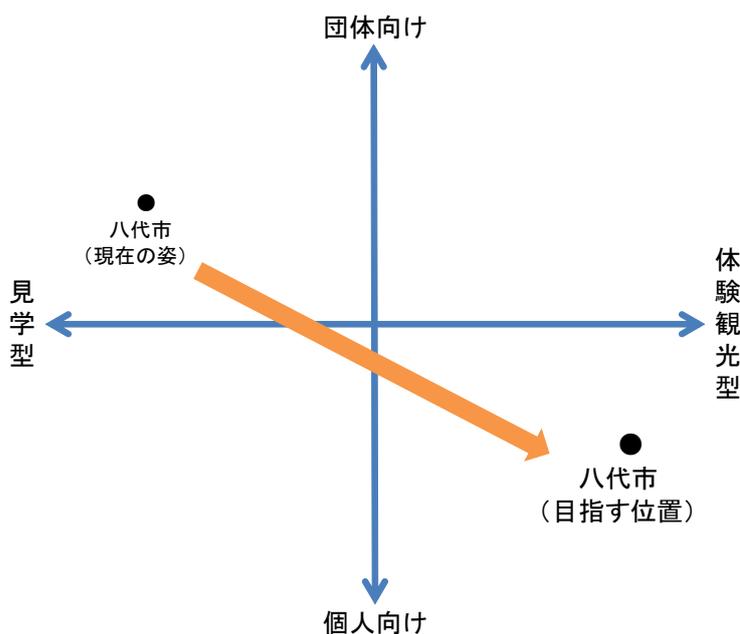
#### 【数値目標】

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
観光客入込数 (単位：人)	－974,000	1,489,000	84,000	134,000	66,000
外国人観光客数 (単位：人)	－2,500	6,600	3,000	3,000	1,400
観光消費額 (単位：千円)	－104,453	1,867,162	349,332	600,358	261,090

数値目標は前年度比

※1年目については熊本地震の影響により、風評被害が発生したことと大型イベント等を中止したことから、観光客の大幅減が発生しているためマイナス数値となった。

### 【八代市における観光ポジショニング】



現在の八代市の観光は、観光地と言われる場所に行き見て回る、あるいは、イベントに参加するのが主であった。これからは、豊かな自然や農林水産物、景観、ものづくり等をフルに活用し、多様な関係者を巻き込みながら、体験型観光や歴史文化及び地域の食材を提供していく。

近年、団体旅行から個人旅行へシフトしており、個人観光者のニーズに対応できるよう八代ならではの様々な体験観光とおもてなしを常に用意し、観光フード都市やつしろを目指していく。

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

海外クルーズ船寄港急増に伴うインバウンドの需要を取り込むことで、観光や体験および食と農への評価や関心を高め、更なる外国人観光客の増加や農林水産物の輸出が増大するといった好循環を構築する。八代の豊かな観光資源をうまく活用しながら観光客を八代に迎え入れる流れを戦略的に創出することで、県南地域への交流人口の拡大と新たな産業の構築を図り、DMOやつしろの着実な自立化を目指す。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

- 1 事業主体：八代市、熊本県八代郡氷川町及び熊本県葦北郡芦北町
- 2 事業の名称：海外クルーズ船寄港を活かした観光・物産プロジェクト

### 3 事業の内容

#### ① DMOやつしろ機能強化事業

事業概要：DMOやつしろを担う専門的人材や後継人材の育成、観光地経営に必要なマーケティング等の基礎調査を実施するとともに、観光客に対応するためのガイドやツアー造成の一役を担うランドオペレーター（旅行中の案内や交通手段の手配を行う者）等の養成を行う。また、熊本地震からの再生に向け観光事業者支援を行う。

実施主体：DMOやつしろ

事業期間：平成28年度～平成32年度

#### ② 大型クルーズ船等インバウンド事業

事業概要：八代城跡周辺や藩湯である日奈久温泉を中心に、八代ならではの和の空間整備を行うとともに、食と農、文化、スポーツなどのさまざまな分野と連携しながら一年を通じた体験型観光開発を進める。また、観光客の周遊性を高めるため多言語による表示・ガイドブックやSNS・スマートフォンによる情報発信等を行う。さらに、イベントへの参加や買物・食事等による消費拡大を図るため、クルーズ船社や海外旅行社へのツアー造成提案とツアーに参加しない乗客、クルーを対象に交通アクセスの強化を行う。

実施主体：八代市・DMOやつしろ

事業期間：平成28年度～平成32年度

#### ③ 八代市・氷川町・芦北町ブランド事業（シラスブランドینگ事業）

事業概要：3市町は、世界一の晩白柚やデコポン、夏ミカン等、7～8月を除き提供できる柑橘類の園芸農業が盛んな地域であり、農林水産省が推進する「食と農の景勝地」の認定を目指し、プロモーション活動を進めながら、戦略計画を策定し、晩白柚風呂（日奈久温泉）やデコポン・晩白柚アロマオイルクリームづくり、イ草（畳織り）体験、特産品とお土産等「ここでしか味わえない体験と味」をテーマに官・民および周辺地域との協働で外貨の獲得に取り組む。

実施主体：八代市・熊本県八代郡氷川町・熊本県葦北郡芦北町・DMOやつしろ

事業期間：平成28年度～平成32年度

#### ④ フードバレー流通推進事業

事業概要：食文化への評価・関心を高め、国内展開においては東京・大阪・福岡等の大都市圏への販路拡大を目指し、海外展開においては、輸出の増大や日本食の需要拡大を推進すべく、八代港との姉妹港である台湾基隆市をはじめとする台湾各地において、県南地域特産品・観光展の開催をトップセールスで行い、八代市および県南地域の知名度向上をフックとして、販路の開拓及び観光客の誘致につなげる。

また、販路開拓や需要の拡大を図るため、物産展や展示会、商談会等への出展、国内外の消費者に八代産農林水産物の安全性とおいしさをアピールする事業者への支援を行う。

実施主体：八代市

事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度

#### 4 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

新たなアトラクション開発や旅行商品の造営及び販売等により収益力を高めていくことで、財政面で自立していけるように取り組む。

##### 【官民協働】

行政、経済団体、ホテル業、交通機関、農林水産業など多様な関係者で構成する「八代市観光経営戦略協議会」やイオンおよび行政（八代市、氷川町）、農商工で構成する「晩白柚ブランド推進協議会」のバックアップのほか、県や県南市町村との連携を図り総合的に事業を展開していく。

##### 【政策間連携】

先行型交付金（タイプⅠ）で「八代インバウンド観光戦略計画」を策定する際に海外客を対象としたアンケートを実施したところ、歴史文化や地域の食への要望が強いことが分かったため、文化振興や農林水産振興による素材の磨き上げと観光振興の政策間連携により事業を実施する。

##### 【地域間連携】

八代市と氷川町、芦北町が連携し、総合的、統一的なプロモーションの展開やイベント等の実施、情報を共有化させることで、人を呼び込むことができる。また、行動範囲の広域化によって、滞在時間を延ばすことで宿泊させ

ることができ、消費躍起につなげることができる。

#### 【その他の先導性】

コーディネート力が高く、マネジメント能力を有する専門の人材を確保することでノウハウやアドバイスを得ながら事業を遂行し、従来の観光資源だけでなく、食と農や伝統文化等の地域資源を活用して多様なニーズを有する国内外の観光客に対して訴求力の高い事業を実施する。

#### 5 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末
目標①					
観光客入込客数（人）	-974,000	1,489,000	84,000	134,000	66,000
目標②					
外国人観光客数（人）	-2,500	6,600	3,000	3,000	1,400
目標③					
観光消費額（千円）	-104,453	1,867,162	349,332	600,358	261,090

数値は前年度比

#### 6 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点の KPI を取りまとめて有識者を含む評価委員会・議会の関与を得ながら検証結果報告としてまとめる。結果については次年度の事業に反映させるとともに、ホームページで公開する。

#### 7 交付対象事業に要する経費

地方創生推進交付金【A3007】

・総事業費 492,264 千円

#### 8 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成 33 年 3 月 31 日（5 ヶ年度）

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

#### ① 景観計画策定事業

事業概要：中心市街地におけるシンボルロードの整備、道路の美装化、歴史に配慮した街並みの景観形成などの整備が可能な「街なみ環境整備事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業当事業」を活用できるよう景観計画を策定する。

実施主体：八代市

事業期間：平成 28 年度～平成 30 年度

#### ② 八代城跡群保存活用計画

事業概要：国指定の史跡や重要文化財（建造物）の保存・整備等については、保存活用計画を策定することとなっており、八代城跡の石垣の修復、八代城北の丸跡の外堀の浚渫や石垣の復元を位置づける。

実施主体：八代市

国の補助制度：文化庁（歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業）

事業期間：平成 27 年度～平成 29 年度

#### ③ 八代城跡石垣整備事業

事業概要：熊本地震の影響により崩壊した石垣を修復する。

実施主体：八代市

国の補助制度：文化庁（史跡等保存活用計画等策定費）

事業期間：平成 28 年度～平成 29 年度

#### ④ 城下町やつしろのお雛祭り事業

事業概要：八代城主松井家に伝わるお雛様をはじめ、市内各所でお雛様を展示し、雛祭り気分を盛り上げ、市内外からの誘客を促進することで、観光と商業の振興を図る。

実施主体：八代市

事業期間：平成 22 年度～

#### ⑤ やつしろ舟出浮き事業

事業概要：昔から八代海に伝わる漁法を間近に見学し、新鮮な海の幸（イカ・エビ・カニ・スズキ等）を無人島で賞味していただく

海のレジャー体験であり、漁業者の生活水準の向上と八代舟出浮きの発展を図る。

実施主体：八代市・舟出浮き組合

事業期間：平成 16 年度～

⑥ 海外誘致促進事業

事業概要：熊本県や県観光連盟などと連携し、欧米や豪州からの観光集客を目的として、海外の旅行会社や旅行記者等を観光地へ招待する事業を実施し、ツアー造成の促進を図る。

実施主体：熊本県・熊本県観光連盟・八代市

事業期間：平成 23 年度～

⑦ 日奈久温泉観光振興事業

事業概要：日奈久温泉街で開催されるイベント等に対する補助金交付やパンフレット作成を行う。

実施主体：湯の里振興会・日奈久温泉組合・八代市

事業期間：平成 22 年度～

⑧ 合宿・大会等運営補助事業

事業概要：観光振興及び経済発展に寄与するスポーツ・文化等の合宿を市内宿泊施設（旅館業法による営業許可を得た宿泊施設）を利用する団体及び各種大会を市内で開催し、運営する者に対し補助を行う。

実施主体：八代市

事業期間：平成 19 年度～

⑨ くまもと県南観光連携事業

事業概要：県南地域における観光交流事業により更なる交流人口の拡大と滞在型観光の増大を図るため市町村が連携し、観光客受入体制の拡充及び観光PRを実施する。

実施主体：熊本県・八代市・人吉市・水俣市。氷川町・芦北町・津奈木町・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村

事業期間：平成 28 年度～

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 33 年 3 月 31 日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

(八代市)

「やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議」及び「八代市観光経営戦略協議会」において、一体的に評価を行う。

(氷川町)

「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において検証を行う。

(芦北町)

「芦北町総合戦略評価委員会」において検証を行う。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年度末時点における下記重要業績評価指標 (KPI) の達成状況について評価を行う。

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度
観光客入込数 (単位：人)	-974,000	1,489,000	84,000	134,000	66,000
外国人観光客数 (単位：人)	-2,500	6,600	3,000	3,000	1,400
観光消費額 (単位：千円)	-104,453	1,867,162	349,332	600,358	261,090

数値は前年度比

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度事業を実施した結果の数値が把握でき次第、速やかに八代市、氷川町、芦北町それぞれの公式ホームページにて公表する。